

# ドイツにおける日本食の現代的な変容

## スーパーで販売されるすしを事例として

陳珏勳（台湾大学）

本発表では、日本とは文化的と歴史的背景が異なるドイツにおける日本食であるすしを事例として、ドイツ社会での受容される過程でどのように変容したかについて考察する。まず日本と異なる食文化圏であるドイツにおいて、どのような取り組みをおこなうことがすしを広めているのかを考察する。さらにフィールドワークを通じて、すしへのイメージを動態的に捉え、記述する。最後にドイツ社会におけるすしの受容の展開と現代的な変容に着目し、明らかにし議論する。

近年、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたことに加え、アニメ・テレビ番組やインターネットなどを通じて、日本食に対する関心が高まり、日本食は世界中に広まっている。アメリカでは、早くも 1980 年代には、すしバーの全米での展開とともに、スーパーの持ち帰りすしが登場した（加藤 2002）。日本食および日本食品は、アメリカ社会にはすでに定着したが、本発表の事例であるドイツでは、すしの流行はアメリカより遅い。ドイツの場合、戦後、日本企業がヨーロッパ再進出をはじめた 1960 年代から 1970 年代の当初、主に日本企業の海外派遣社員によるドイツの駐在員とその家族が構成する日本人移民社会の需要を満たすために、日本レストランや日本食を扱う日本食品料店が開店し発展し始めたのがその端緒である。現在、ドイツにおける日本食の中で一番よく知られているのは「sushi」である。回転ずし屋からスーパーマーケットまで人気が持続的に高まっている。最初、すしは回転ずし屋か日本レストランで提供されたが、そのオーナーの大半が中国系やベトナム系などの移民であったため、アジア系のテイストが混ざったものとなっている。現在、「sushi」という単語はすでにドイツの社会で定着し、日本食を象徴するものになった。

本発表では、この日本食であるすしの現代的な変容、ドイツにおけるスーパーマーケットでの販売の展開を調査し、その重要点を明確にする。ドイツでは地域によって開店しているスーパーマーケットは異なるが、全国的にチェーン店がある店も多い。その中ですしを販売するスーパーをまとめると、大手スーパーである EDEKA（エデカ）と REWE（レーベ）、中型食品スーパーである LIDL（リドル）と ALDI（アルディ）を事例としてあげる。

大手スーパーの EDEKA はドイツにおける店舗数が一位のスーパーで、REWE はドイツで二位の食料品製造販売会社である。中型食品スーパーの LIDL と ALDI は、低価格帯スーパーマーケットで全国的にチェーン店がある。現地の調査を通じて、近年、これらの店舗では、アジア系食品や日本食料品の品揃えが徐々に増加しつつある一方、10 年前から日本食ブームにより冷凍の寿司が販売されていることがわかった。また、3 年前から、スーパーで新鮮な Sushi Box が常時販売されるようになった。安くて新鮮な魚が食べられる点が強調され、商品名には主に日本の大都市名（Tokyo, Osaka など）や日本人の名前（Hinata, Haruki など）がつけられるなど、日本らしさが特徴とされている。一方、スシライス（Sushi-Reis/すし米）から作った細巻き、太巻き、にぎりとクリームチーズ入りのカリフォルニア巻きが主に箱の中に並んで、ワサビとガリ、お魚醤油とはし付きで手軽に買えるお弁当のように宣伝されている。軽く食べられカロリーも低いため、健康志向の強い若い利用者が多い。日本レストランにひらがなや漢字など「日本」をイメージさせるのが多く用いられていることと違って、誰でも気軽にテイクアウトできる「to go」という点が強調され、日本とドイツの味がミックスした「sushi」になった。

本発表では、ドイツにおける日本食の受容歴史には、すしが最も重要な役を演じたと論じる。結論として以下の特徴を指摘できる。まず、本来の伝統的な日本食であるすしとはかけ離れ、「すし」から「sushi」への意味付けの転換により、すしはすしではなく、ドイツ人が思う「sushi」へと移り変わり、ドイツ社会で一つの健康食品として流行になっていると考える。そして、ドイツにおけるすしブームが誕生した理由としては、日本の伝統的な味をそのまま押し付けるのではなく、現地の食文化と融合し、ドイツ社会に受け入れられるものへアレンジする発想の転換があったことが指摘できよう。であればこそ、すしはドイツの社会に徐々に浸透してきたと考える。最後に、これからすしのイメージは「高価なもの」から「大衆的」、「日常的」なイメージへと変化し、ドイツの社会で受け入れられることになっていくと考える。

### 参考文献

加藤裕子 2002『寿司、ブリーズ！—アメリカ人寿司を食う』集英社

キーワード      ドイツ    日本食    スーパーマーケット    すし    日常的